

みんなの環境

第8号 2007年5月7日

編集/発行 あつぎ環境市民の会

http://www.geocities.jp/atsugi_kankyo/

5月のニュース ライトアップから考える

このところIPCCとか暖冬・異常気象、バイオエネルギーと食糧の奪い合いなど、本当は大変なことなのですが食傷気味なので少し目先の変った話題にしましょう。

お花見のシーズンは終わったのですが、夜桜見物など行った方もいらっしゃると思います。

そこで、どこでも気になるのが、ライトアップ。何も夜桜に限ったことではないのですが、やたらにどこでもやっていると思いませんか。私など、暗い中にほのかに花の白さがまわりを照らし、そこはかたなく香りが漂うことにロマンを感じます。

ライトアップにどれだけの電力を使うのでしょうか？

少し腹立たしいことがあります。太陽光発電で作られた電気はクリーンエネルギーなのでグリーン電力証書にして売買の対象にできます。野外で行うイベントなどで、これを使うから環境にやさしいと謳うものが増えています。同じように夜のライトアップもです。

確かにそうかも知れませんが、折角作った自然エネルギーの電気が消費量を増やす方向に使われていることに気づかないのでしょうか？

そこで、この話題。

「伝説の東京タワー消灯、毎晩OK…保守点検作業中も 3/24 読売新聞」

午前0時の消灯と一緒に見ると幸せになれる——。今までは点検時しかしなかったのを毎日にするという。それにしても12時までではついているし、以前はその後もついていたというのが少し驚きではありましたが、経済的なこともあるのでしょうか少し前進です。

日本中のカップルに夜8時の消灯を見ると幸せになれると流布してみたいものです。

もう一つ新聞情報ではありませんが、3月に「第4回かながわ新エネルギー賞」表彰がありました。

表彰された中に、速水浩平氏（株式会社音力発電：藤沢市遠藤）の「『発電床』の開発とモデル的導入」があります。

むずかしそうですが、要するに人が歩けば地面や床に力がかかり、振動もある。これをエネルギーとして取り出す、と言うものです。

この中で提案されているものに「参加型イルミネーション」があります。人が歩く際に生じる振動のエネルギーを利用し、LED照明を発光させる外部電力不要のイルミネーション装置にしようというものです。屋外のイベントなどで利用により、地球環境問題への普及啓発の効果も期待されるというのが表彰理由ですが、冒頭の人出の多い所の夜桜用にはぴったりだと思いませんか。普及させてみたいものです。

(KADO)

平成19年度定時総会報告

平成19年4月17日ボランティアサポート室会議室に於いて定時総会を開催しました。

1 開会

2 代表挨拶・・・狩野光子

3 議長選出・・・高橋弘毅

4 議事

- ・平成18年度事業報告・・・青砥航次
- ・平成18年度会計報告・・・山中延明
- ・平成19年度事業計画案・・・青砥航次
- ・平成19年度予算案・・・山中延明

書記：藤田実

以上を役割分担しながら議事を進め、参加者全員異議なしで18年度事業報告、会計報告、19年度事業計画案、予算案が承認されました。

総会終了後、なよたけ喫茶店で“ボルネオからの報告”を青砥航次さんからお話をさせていただき、和やかな内総会が終了しました。

19年度もお互いに情報交換しながら協力しあって、少しでも子どもたちへ美しいふるさとを残してあげられるよう努力してまいりたいと思います。

(狩野光子)

厚木市 市民活動保険継続のお知らせ

平成19年4月17日の平成19年度総会で、市民活動保険の継続が決定されました。更新手続きを済ませましたので、改めて保険の概要をお知らせします。

- 1) 保険料 : 厚木市が負担
- 2) 有効期間 : 平成22年5月16日まで
- 3) 対象 : あつぎ環境市民の会の会員31名
- 4) 対象となる事故
 - ・市民活動中に、指導者等の過失により、市民活動の参加者又は第三者の生命、身体、財物に損害を与えて法律上の賠償責任を負う事故の場合。
 - ・市民活動中に発生した急激かつ偶然な外来の事故で市民活動の指導者など及び参加者が負傷又は死亡した事故の場合。
- 5) 保険項目 (内容は省略)
死亡補償金、後遺障害補償金、入院補償金、手術保証金、通院補償金
- 6) 事故が発生したとき
事故発生日から14日以内に、市民活動推進課に必要書類を提出
- 7) 問い合わせ
 - ・厚木市 市民活動推進課 ボランティア支援係
厚木市勤労福祉センター内 1F ボランティア活動サポート室
電話 : 046-225-2104 Fax : 046-227-5408

(藤田実)

キンラン、ギンランが見られます

東京電力 東扇島火力発電所の緑地

5月2日、20年前宮脇方式で緑化した埋立地に、数年前からキンラン、ギンランが見られるという東京電力東扇島火力発電所緑地を見学しました。

宮脇植栽方式が世界的に注目を浴びていますが、植栽した後どうなるのか？現場を目にする機会がありません。あつぎ環境市民の会も神奈川県自然保護協会の団体会員になったこともあり、急遽ご案内を頂き参加させていただきました。現場は海岸を埋め立てた47万㎡の4分の1の土地に相模原地方から1メートルほど客土、その上に常緑樹を植栽し防災緑化されています。

宮脇先生ご指導の元に数年前間伐後、少しの合間から光がさし、幻の山野草となったキンラン、ギンランが、海が手に取るように見える川崎海岸で見られるのは不思議でした。

地球は菌によって支配されているのではないかと感じる昨今ですが、土壌菌と根菌との共生のバランスの上に初めて芽を出し、開花はお天気の良い風のある日の一瞬を選んで種を飛ばすそうです。

去年は5月2日、今年は4月30日だったそうだと開花に間に合いませんでしたが種は土の中に眠っていて条件が整い芽が出たのか？それとも山のほうから種が飛んできたのか？また、自然の側面に隠されているロマンに出会ったようで素敵で楽しい1日でした。

(狩野光子)

キンラン

再生緑地の説明

この機関紙にみなさんの環境への思いや情報を載せましょう。原稿は随時受け付けています

荻野川の観察会 (荻野川野鳥歳時記)

講師: 櫻井 武氏

日 時: 5月12日(土) 午前8時集合
(雨天中止)

集合場所: 荻野運動公園管理棟前

観察コース

運動公園→弁天橋→金山橋→銅座橋→権現堂橋→鷺坂橋→
本郷橋→広町公園を往還
(石仏・・・弁天様・・・お地藏様・・・閻魔様)

●持ち物=弁当・飲み物・観察用品

(双眼鏡・カメラ・図鑑・筆記用具)

申し込み=櫻井 武 電話 046-242-2428



e-mail takeru@ra2.so-net.ne.jp

あつぎ環境市民の会では2007年度の会員を募集しています。

あつぎ環境市民の会は、自然環境保全、地球温暖化防止、ごみ減量、環境学習などの環境活動を実践している市民が集り、平成16年4月に発足しました。

ただいま会員(年会費は2,000円)を募集しています。お申込みは電話046-224-5010(狩野)まで。